

## ピロリ菌検査（一次検査）結果が陽性又は判定不能の方へ



### Q 1 検査結果が「陽性」の方

ピロリ菌に感染している可能性があります。ピロリ菌が胃の中に存在するかどうかを確認するためには二次検査（確定検査）が必要になります。（有料）

### Q 2 検査結果が「判定不能」の方

陰性、陽性がはっきりと判定できなかったものです。原因としては高タンパク尿や潜血などが影響している場合も考えられることから、まずは、思い当たる要因があれば、医療機関で相談するか、しばらく時間をおいて二次検査を実施されることも検討してください。（有料：助成はありません）

### Q 3 二次検査や除菌治療をした方がいいのか？

別紙の協力医療機関に対して、事前に検査内容や費用等について電話で御相談の上、保護者が二次検査や除菌治療の実施について決定することになります。

- ・胃がんとピロリ菌は密接に関係しており、胃がん発症者のうち8割がピロリ菌が原因とする報告があります。（出典：世界保健機関2014年）
- ・また、喫煙、食生活などの生活習慣が胃がん発生のリスクを高めるとされています。日常の食生活においては、塩分を控えたり野菜や果物の摂取に心がけるようにしてください。
- ・ピロリ菌を除菌しても一定の年齢（40歳以上）になれば、定期的ながん検診を受けることが必要です。

### Q 4 二次検査や除菌治療の費用は？

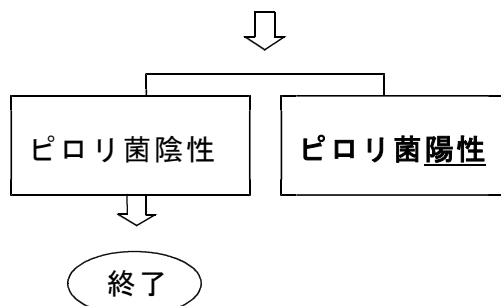
二次検査や除菌治療を希望する場合は、原則全額自己負担となりますので、事前に医療機関に電話で相談の上、受診してください。

県からの費用に対する助成はないことを御了承ください。

### <二次検査や除菌治療について>

#### (1) 二次検査（確定検査）

事前に協力医療機関（別紙参照）に電話で相談の上、検査結果通知を持って受診してください。



#### (2) 除菌治療

医療機関と相談の上、保護者の判断で実施してください。



鹿児島県